

平成 25 年 7 月 10 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号
 会 社 名 株 式 会 社 ス リ ー ・ デ ィ ー ・ マ ト リ ッ ク ス
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 高 村 健 太 郎
 (コード番号：7777)
 問 合 せ 先 取 締 役 新 井 友 行
 電 話 番 号 03 (3511)3440

(訂正)「新株式発行及び株式の売出しに関するお知らせ」の一部訂正について

平成 25 年 7 月 5 日に公表いたしました「新株式発行及び株式売出しに関するお知らせ」につきまして、一部訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり、訂正いたします。なお、訂正箇所は下線にて示しております。

記

訂正箇所：5 ページ「3. 調達資金の使途 (1) 今回の調達資金の使途」

(訂正前)

<前略>

なお、研究開発資金については、主に吸収性局所止血材 (TDM-621) の海外展開に向けての準備費用として米国及び欧州での臨床試験、人件費等に充当する予定です。なお、用途別の具体的な内訳は以下のとおりであります。

(単位：千円)

使途	内容	金額	支出予定時期
各種試験費用	各開発パイプライン (注) の治験開始までの前臨床試験費用	40,000	平成 25 年 10 月～平成 29 年 4 月
臨床関係費用	各開発パイプライン (注) の臨床試験を実施するための医療機関治験施設への各種支払・申請費用	1,460,000	平成 25 年 11 月～平成 29 年 4 月
原材料費用	各開発パイプライン (注) における各試験に使用するペプチド製剤費用・治験に使用するペプチド製造費用等	160,000	平成 25 年 10 月～平成 29 年 4 月
研究開発人件費用	研究開発を実施するために要する人件費等	340,000	平成 <u>26</u> 年 11 月～平成 27 年 4 月
合計		2,000,000	

(注) 各開発パイプラインとは、外科領域として、日本国内の他に米国、欧州及びアジア地域へ事業展開を進めている吸収性局所止血材 (TDM-621) 並びに日本国内で事業展開を進めている粘膜隆起材 (TDM-641) であります。

ご注意：この文書は、当社の新株式発行及び株式の売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分 (作成された場合) をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

(訂正後)

<前略>

なお、研究開発資金については、主に吸収性局所止血材（TDM-621）の海外展開に向けての準備費用として米国及び欧州での臨床試験、人件費等に充当する予定です。なお、用途別の具体的な内訳は以下のとおりであります。

(単位：千円)

使途	内容	金額	支出予定時期
各種試験費用	各開発パイプライン（注）の治験開始までの前臨床試験費用	40,000	平成25年10月～平成29年4月
臨床関係費用	各開発パイプライン（注）の臨床試験を実施するための医療機関治験施設への各種支払・申請費用	1,460,000	平成25年11月～平成29年4月
原材料費用	各開発パイプライン（注）における各試験に使用するペプチド製剤費用・治験に使用するペプチド製造費用等	160,000	平成25年10月～平成29年4月
研究開発人件費用	研究開発を実施するために要する人件費等	340,000	平成25年11月～平成27年4月
	合計	2,000,000	

(注) 各開発パイプラインとは、外科領域として、日本国内の他に米国、欧州及びアジア地域へ事業展開を進めている吸収性局所止血材（TDM-621）並びに日本国内で事業展開を進めている粘膜隆起材（TDM-641）であります。

以上

ご注意：この文書は、当社の新株式発行及び株式の売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。